



第2章 モーセの祈り

モーセ⑥ 神によるリーダーたちの任命



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編） 119～128ページ
- 主な引用箇所 民数記27章12～17節、ヘブル9章7～8節、10章19～22節



質問

- 1 「主」という言葉にはどのような意味があり、神とイスラエルのどんな関係を語っていますか？（119ページ参照）祈りが聞かれないと思う時に、この「主」という言葉から私たちは何を信じるべきですか？（120ページ参照）あなたにも祈りが聞かれないと思う経験がありますか？
- 2 モーセは後継者について祈った時、何を認めて祈りましたか？このことから信仰のリーダーを選ぶ上で貴重な教訓は何ですか？（121ページ参照）「これは確かに神が選ばれたことだ、人の決定ではない。」と思った経験があったら分かち合ってください。
- 3 モーセは祈りの人であると同時に、人々に神の臨在への道を明らかにする人でもありました。彼はどのように神の臨在への道を示していますか？（122～123ページ参照）
- 4 幕屋は人が神に近づく道を指し示すモデルです。幕屋の様子は人が神に近づくために重要なことを教えています。（124～126ページ）あなたにとって、神に近づくために特に重要だと思うこと、あるいはあなたが心がけていることがあれば分かち合ってください。
- 5 あなたが信仰のリーダーとして神に用いられたいと願うなら、常に祈りを一番の優先事項に保ちましょう。（128ページ参照）祈りが消えてしまうと信仰生活がどうなってしまうか分かち合いましょう。あなたにとって祈りは最優先事項になっていますか？



天の父なる神さま。あなたがなさろうとすることを私が受け止めることができますように。
何よりも、あなたの前にひざまずきあなたに近づくことが私の喜びとなりますように。